

米国経済・金融概況 (2021年11月)

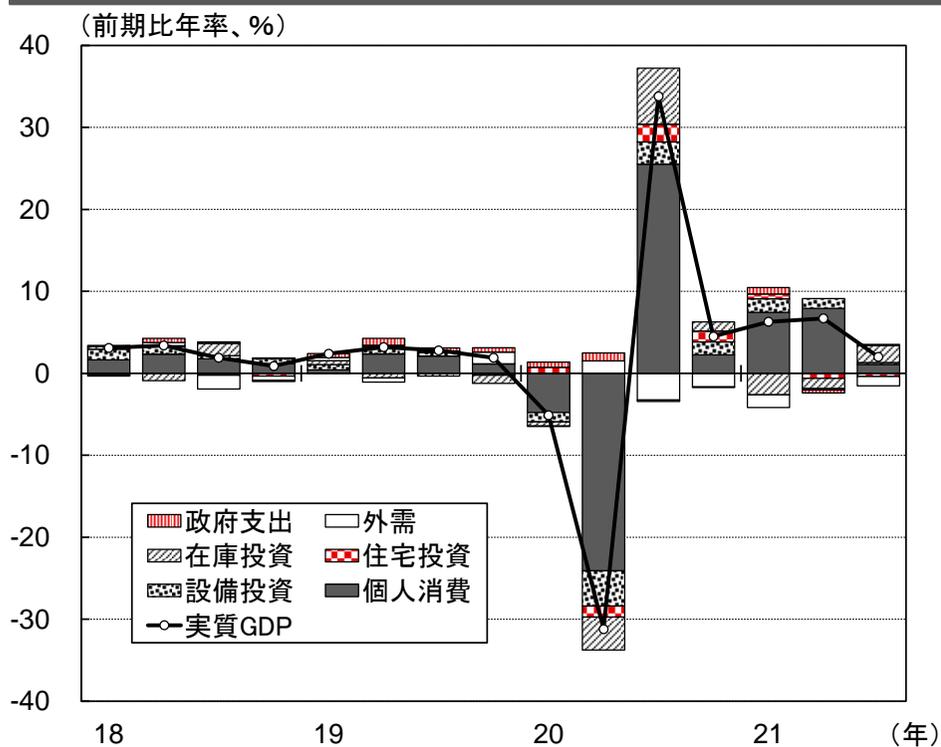
2021年11月16日

経営企画部経済調査室(ニューヨーク)

1. GDP

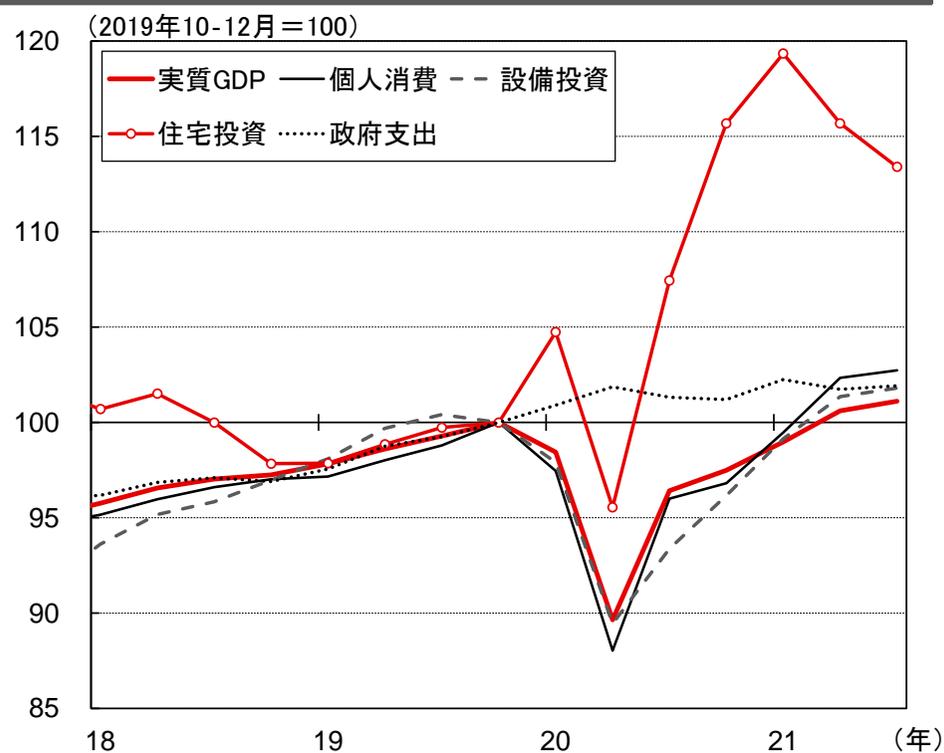
- 7-9月期の実質GDPは前期比年率+2.0%と5四半期連続で増加したものの、4-6月期(同+6.7%)から大幅に減速。
- 需要項目別にみると、個人消費は同+1.6%と前期(同+12.0%)から大きく鈍化。サービス消費は同+7.9%と堅調に増加した一方、財消費が同▲9.2%と自動車・同部品等を中心に減少。また、設備投資は同+1.8%と前期(同+9.2%)から鈍化、住宅投資は同▲7.7%と2四半期連続で減少(前期は同▲11.7%)。
- 在庫投資の実質GDP成長率に対する寄与度は同+2.1%ポイントと、サプライチェーンの混乱を受けて在庫を積み増す動き等からプラスに転じた(前期:同▲1.3%ポイント)。

実質GDP成長率の推移



(資料)米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

需要項目別の水準の推移

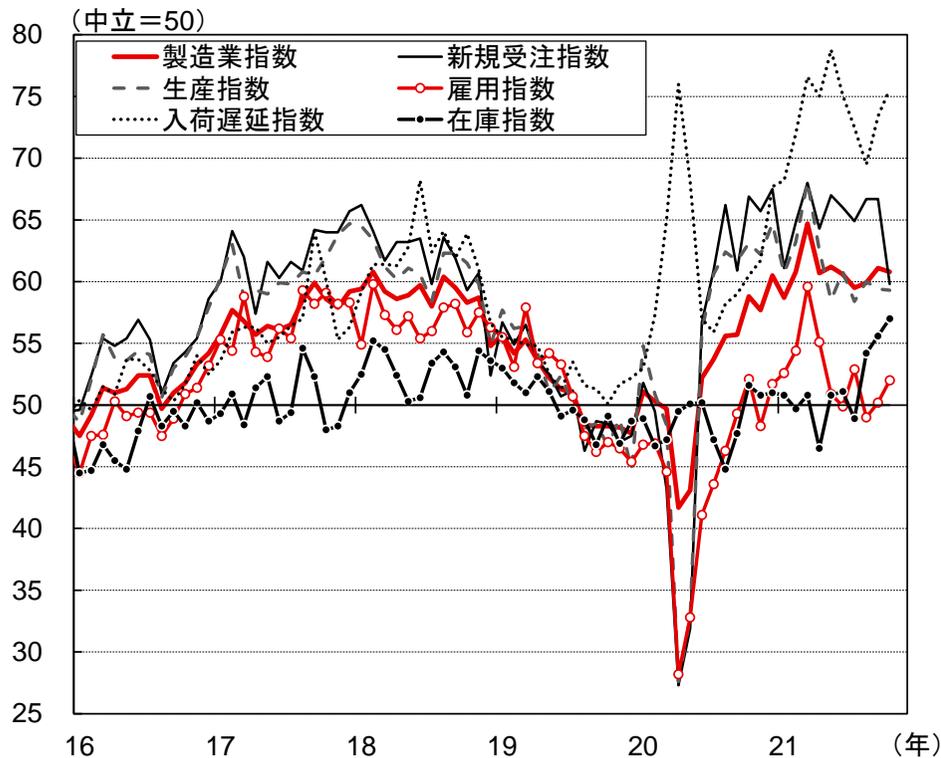


(資料)米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

2. 企業活動

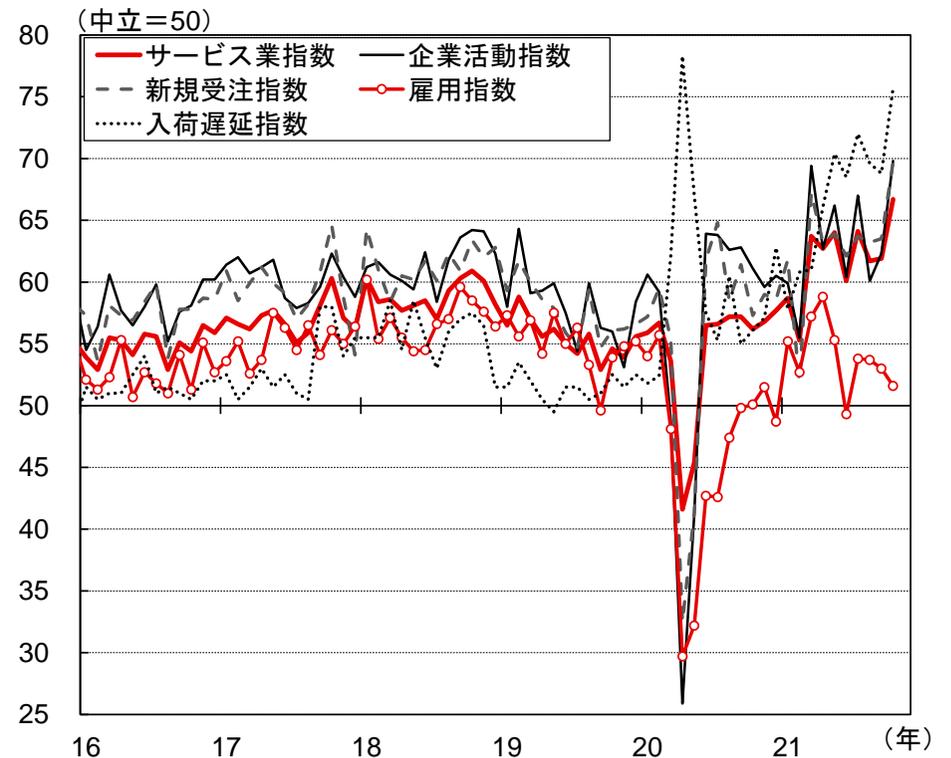
- 製造業の景況感・活動状況を表すISM製造業指数(総合指数)は、10月に60.8(前月比▲0.3)と小幅低下。指数の構成項目をみると、入荷遅延指数(75.6、前月比+2.2)、雇用指数(52.0、同+1.8)、在庫指数(57.0、同+1.4)が上昇した一方、新規受注指数(59.8、同▲6.9)が大幅に低下。なお、総合指数は拡大と縮小の境目である50を17ヵ月連続で上回り、産業別では全18産業のうち16産業が拡大、2産業が縮小を報告(9月は17産業が拡大、1産業が縮小)。
- 10月のISMサービス業指数(総合指数)は66.7(前月比+4.8)と過去最高を記録。企業活動指数(69.8、前月比+7.5)、入荷遅延指数(75.7、同+6.9)、新規受注指数(69.7、同+6.2)が大幅に上昇。なお、総合指数は50を17ヵ月連続で上回り、産業別では全18産業が拡大を報告(9月は17産業が拡大、1産業が縮小を報告)。
- 製造業、サービス業ともに10月は入荷遅延指数が上昇しており、供給制約が引き続き課題。回答企業からは、サプライチェーンの問題は2022年にかけて続くだろうとのコメントがみられた。

ISM製造業指数の推移



(資料) 全米供給管理協会統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

ISMサービス業指数の推移



(資料) 全米供給管理協会統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

3. 生産

- 10月の鉱工業生産は前月比+1.6%と2ヵ月ぶりに増加。10月の増分の約半分は前月のハリケーン・アイダの影響からの回復が寄与したもの(統計発表元のFRB試算)。産業別にみると、「製造業」は「自動車・同部品」が前月の減産からの反動等により同+11.0%と増加するなど、全体では同+1.2%。「鉱業」は同+4.1%、「公益事業(電力・ガス)」は同+1.2%と夫々増加。なお、10月の設備稼働率は76.4%と前月から+1.2%ポイント上昇。
- 9月の耐久財受注は前月比▲0.3%と5ヵ月ぶりに減少。内訳をみると、全体の約3割を占める「輸送用機器」が同▲2.3%。一方、設備投資の先行指標であるコア資本財受注(非国防資本財受注、除く航空機)は9月に同+0.8%と7ヵ月連続で増加。

鉱工業生産と設備稼働率の推移



(資料)FRB統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

耐久財受注の推移

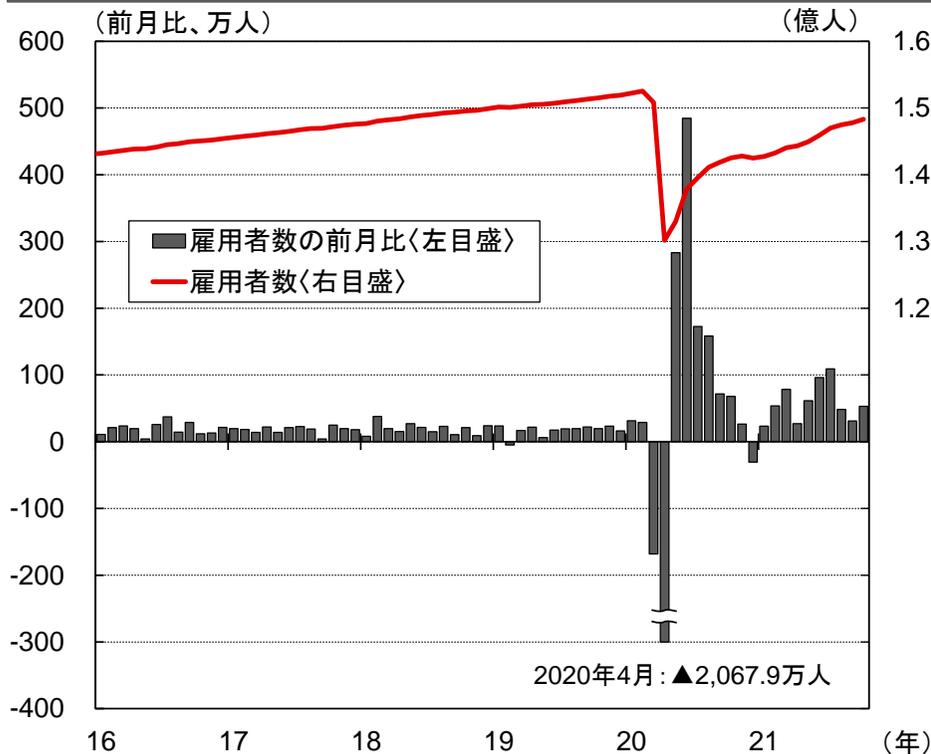


(資料)米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

4. 雇用

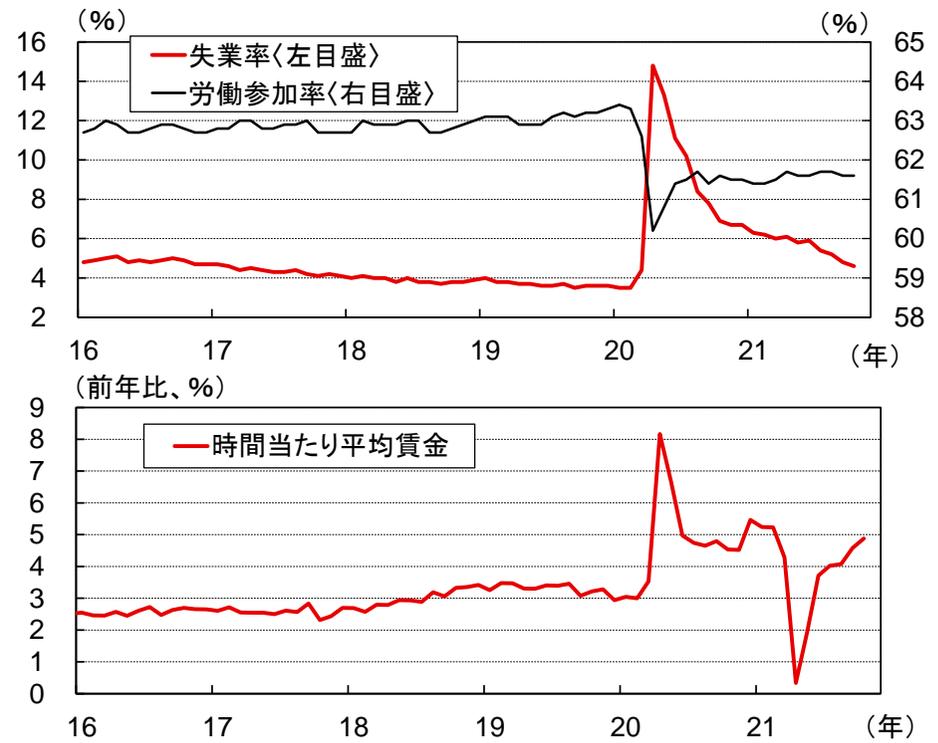
- 10月の非農業部門雇用者数は前月比+53.1万人と前月(同+31.2万人、改定値)から伸びが加速し、市場予想(Bloomberg集計:同+45.0万人)を上回る結果。
- 業種別にみると、「レジャー・飲食」(同+16.4万人)、「専門・ビジネスサービス」(同+10.0万人)、「製造業」(同+6.0万人)、「輸送・倉庫」(同+5.4万人)などが増加。一方、「公務」(同▲7.3万人)は州・地方の教育関連を中心に引き続き減少。なお、非農業部門雇用者数の水準はパンデミック前(2020年2月)に対して▲420万人(▲2.8%)。
- 10月の失業率は4.6%と前月から0.2%ポイント低下、失業者数は741.9万と前月比▲25.5万人。労働参加率は61.6%と前月から横這い。時間当たり平均賃金(民間部門)は前年比+4.9%と前月(同+4.6%)から伸びが加速。

非農業部門雇用者数の推移



(資料)米労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

失業率・労働参加率・時間当たり平均賃金の推移

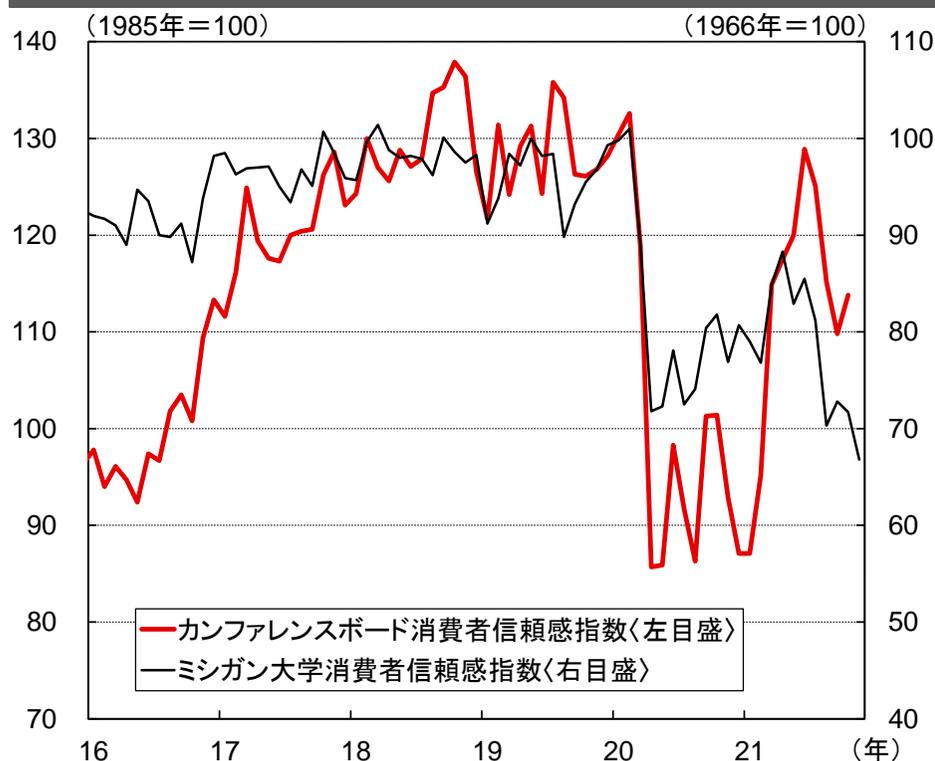


(資料)米労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

5. 個人消費

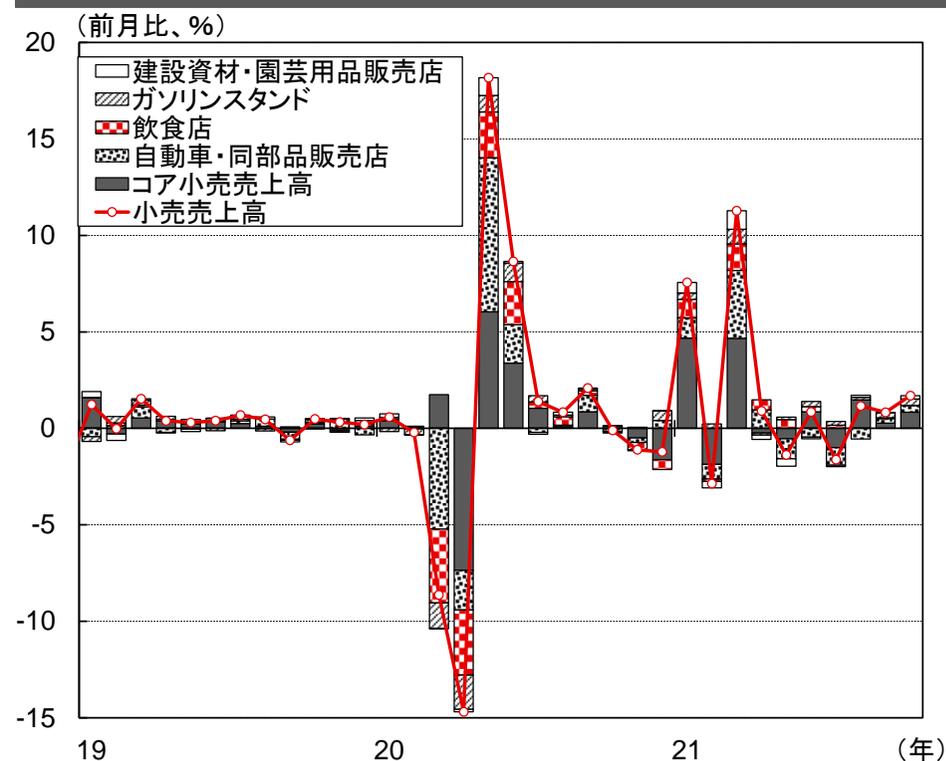
- 10月のカンファレンスボード消費者信頼感指数は113.8(前月比+4.0)と4ヵ月ぶりに上昇。一方、11月のミシガン大学消費者信頼感指数(速報値)は66.8と、2011年11月以来の水準へと低下。インフレに対する懸念の高まりが背景として指摘される。
- 他方、10月の小売売上高は前月比+1.7%と3ヵ月連続で増加(9月:同+0.8%)。業種別にみると、「ヘルス・パーソナルケア用品店」と「衣料品販売店」は減少した一方、「無店舗小売店」、「ガソリンスタンド」、「電機・家電販売店」、「自動車・同部品販売店」、「スポーツ用品店・書店等」、「食料・飲料品店」など多くの業種が増加。

消費者信頼感指数の推移



(資料)カンファレンスボード、ミシガン大学統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

小売売上高の推移

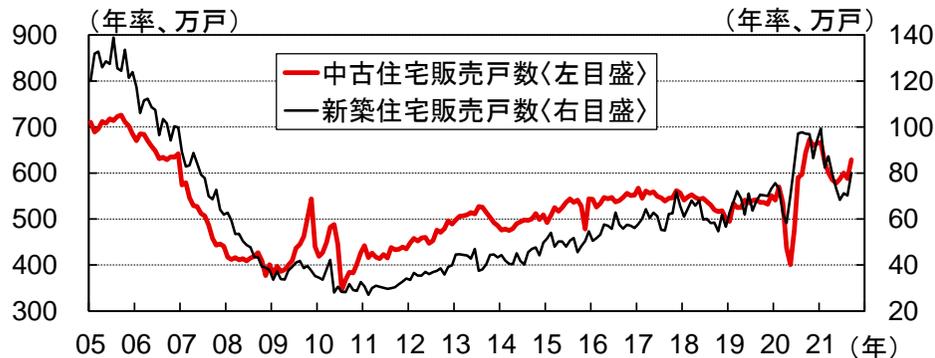
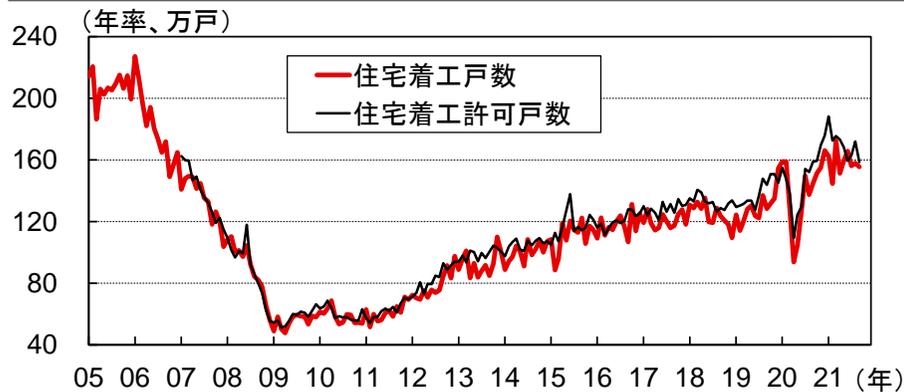


(資料)米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

6. 住宅

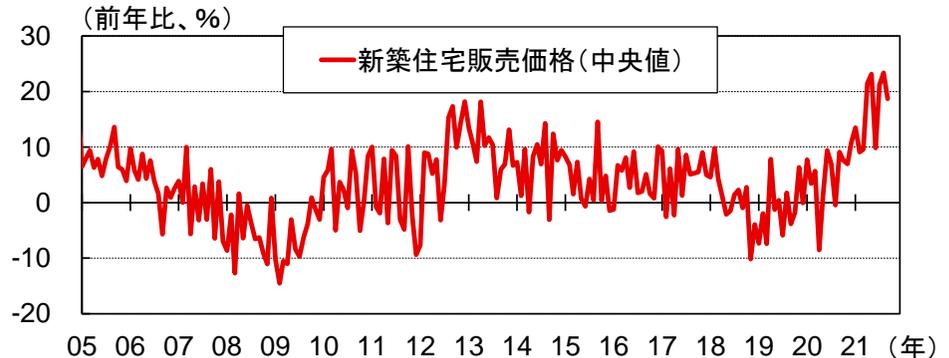
- 9月の住宅着工戸数は前月比▲1.6%の年率155.5万戸(季節調整済)と2ヵ月ぶりに減少。内訳をみると、一戸建住宅は前月比横ばい、集合住宅(2世帯以上)は同▲5.0%と減少。先行指標である住宅着工許可戸数は同▲7.8%の年率158.6万戸(季節調整済)と3ヵ月ぶりに減少。
- 9月の住宅販売戸数は中古住宅が前月比+7.0%の年率629.0万戸(季節調整済)、新築住宅は同+14.0%の年率80.0万戸(季節調整済)と、夫々2ヵ月ぶりに増加。住宅販売価格は中古住宅が352,800ドル(中央値・季節調整前)、前年比+13.3%、新築住宅は408,800ドル(中央値・季節調整前)、同+18.7%と、上昇ペースは前月(中古住宅:同+15.2%、新築住宅:同+23.3%)から鈍化。
- 在庫率は中古住宅が2.4ヵ月(季節調整済)、新築住宅は5.7ヵ月(季節調整済)と、夫々前月から低下。

住宅着工戸数・着工許可戸数・住宅販売戸数の推移



(資料) 全米不動産業協会、米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

住宅販売価格の推移



(資料) 全米不動産業協会、米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

7. 物価

- 10月の消費者物価指数は前年比+6.2%と前月(同+5.4%)から伸びが加速し、1990年11月以来の上昇率に。食品とエネルギーを除いたコア消費者物価指数も前年比+4.6%(前月:同+4.0%)と1991年8月以来の上昇率。内訳をみると、エネルギー(同+30.0%)、食品(同+5.3%)、中古車(同+26.4)、新車(同+9.8%)、家賃(同+3.5%)をはじめ多くの項目で前月から伸びが加速。
- 10月の生産者物価指数は前年比+8.6%、食品とエネルギーを除いたコア生産者物価指数は同+6.8%と、夫々上昇率は前月から横ばい。内訳をみると、「財」(同+14.2%)は伸びが加速した一方、「サービス」(同+5.9%)は縮小。

消費者物価指数の推移



(資料)米国労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

生産者物価指数の推移



(資料)米国労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

8. 国際収支

- 9月の貿易収支(財・サービス)は809億ドルの赤字となり、赤字幅は前月比+11.2%と拡大。輸入が同+0.6%と増加した一方、輸出は同▲3.0%と減少。輸出の内訳をみると、原油(同▲15.1%)や石油製品(同▲14.8%)などが大きく減少しており、8月末に上陸したハリケーン・アイダによる鉱業の操業停止が一部影響したとみられる。
- 財の貿易収支を国・地域別にみると、米国の貿易赤字(財)の3分の1程度を占める中国との貿易赤字は9月に315億ドルとなり、赤字幅は前月比+12.0%(同+34億ドル)と拡大。前年比でみると、対中輸出(財)は▲6.2%と減少した一方、対中輸入(財)は同+13.7%と増加。

貿易収支と輸出入(財・サービス)の推移



(注)国際収支ベース。貿易収支は季節調整後。輸出入の前年比も季節調整後の数値を元に算出。
 (資料)米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

対中貿易収支と対中輸出入(財)の推移



(注)通関ベース。貿易収支は季節調整後。輸出入の前年比も季節調整後の数値を元に算出。
 (資料)米国商務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

9. 金融市場動向

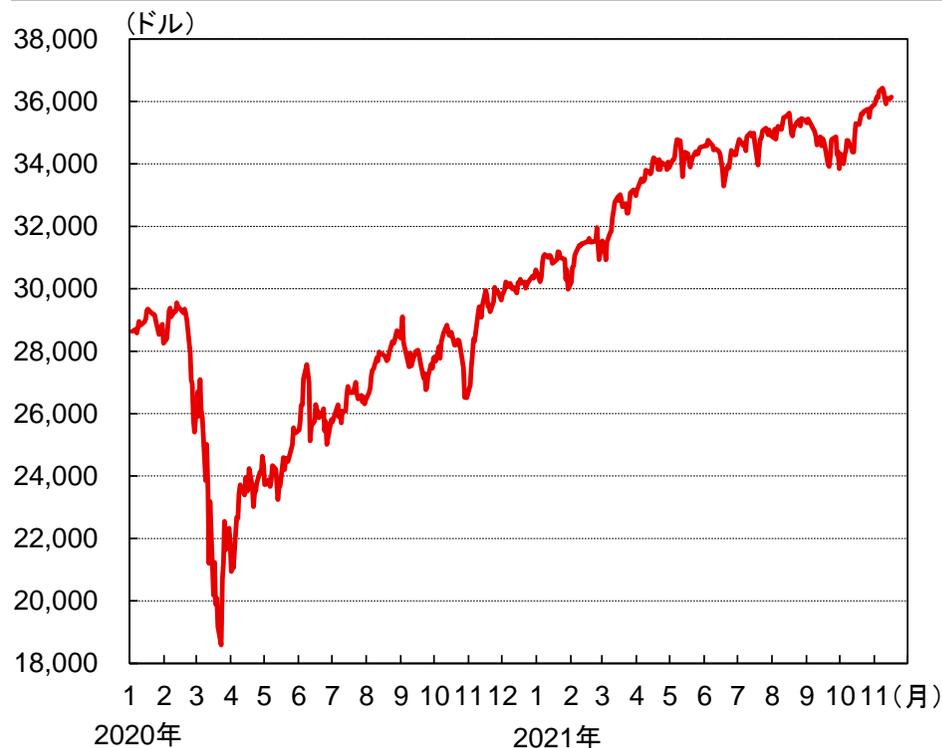
- 10年物国債利回りは、11月3日のFOMCでテーパリング(量的緩和政策の段階的縮小)の開始を決定した一方、利上げは急がないとの姿勢が示されたこと等から早期利上げ観測が後退し、11月9日には1.44%まで低下。しかし、CPI発表を受けて上昇に転じ、足元では1.6%台で推移。
- ダウ平均株価は10月中旬にかけて調整色を強めていたが足元では企業業績の好調を反映して堅調に推移。

10年物国債利回りの推移



(資料) Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

ダウ平均株価の推移



(資料) Bloombergより三菱UFJ銀行経済調査室作成

参考表: 主要月次経済指標の推移①

主要月次経済指標の推移

		20年11月	12月	21年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
企業活動・生産	ISM 製造業指数	57.7	60.5	58.7	60.8	64.7	60.7	61.2	60.6	59.5	59.9	61.1	60.8	-
	ISMサービス業指数	56.8	57.7	58.7	55.3	63.7	62.7	64.0	60.1	64.1	61.7	61.9	66.7	-
	鉱工業生産指数(2012年平均=100)	97.2	98.3	99.4	96.4	99.2	99.2	99.9	100.4	101.3	101.3	100.0	101.6	-
	前月比(%)	0.5	1.2	1.1	▲3.0	2.9	0.1	0.7	0.5	0.8	0.0	-1.3	1.6	-
	設備稼働率(%)	73.3	74.1	75.0	72.7	74.8	74.8	75.3	75.6	76.2	76.2	75.2	76.4	-
	製造業受注(億ドル)	4,604	4,683	4,792	4,812	4,881	4,874	4,986	5,061	5,095	5,146	5,159	-	-
	前月比(%)	1.6	1.7	2.3	0.4	1.4	▲0.1	2.3	1.5	0.7	1.0	0.2	-	-
	うち耐久財受注(億ドル)	2,338	2,374	2,432	2,463	2,495	2,476	2,555	2,577	2,588	2,623	2,614	-	-
	前月比(%)	2.2	1.5	2.4	1.3	1.3	▲0.7	3.2	0.8	0.5	1.3	▲0.3	-	-
雇用・個人消費	非農業部門雇用者数(前月比、万人)	26.4	▲30.6	23.3	53.6	78.5	26.9	61.4	96.2	109.1	48.3	31.2	53.1	-
	時間当たり平均賃金(ドル)	29.61	29.91	29.92	30.00	29.97	30.17	30.31	30.44	30.55	30.67	30.85	30.96	-
	前年比(%)	4.5	5.5	5.2	5.2	4.3	0.3	1.9	3.7	4.0	4.1	4.6	4.9	-
	失業率(%)	6.7	6.7	6.3	6.2	6.0	6.1	5.8	5.9	5.4	5.2	4.8	4.6	-
	個人所得(年率、億ドル)	194,350	195,622	215,045	199,551	241,424	208,625	204,138	204,490	206,675	207,088	204,926	-	-
	前月比(%)	▲1.0	0.7	9.9	▲7.2	21.0	▲13.6	▲2.2	0.2	1.1	0.2	▲1.0	-	-
	個人消費(年率、億ドル)	144,673	143,895	148,579	146,996	154,589	156,187	156,244	158,020	158,117	159,668	160,602	-	-
	前月比(%)	▲0.5	▲0.5	3.3	▲1.1	5.2	1.0	0.0	1.1	0.1	1.0	0.6	-	-
	貯蓄率(%)	13.0	14.0	19.9	13.5	26.6	12.4	10.0	9.0	9.9	9.2	7.5	-	-
	小売売上高(億ドル)	5,426	5,360	5,765	5,600	6,231	6,288	6,201	6,254	6,153	6,224	6,275	6,382	-
	前月比(%)	▲1.1	▲1.2	7.6	▲2.9	11.3	0.9	▲1.4	0.9	▲1.6	1.2	0.8	1.7	-
	自動車販売台数(年率、万台)	1,587	1,631	1,678	1,593	1,764	1,830	1,689	1,547	1,467	1,309	1,222	1,299	-
	前月比(%)	▲3.2	2.7	2.9	▲5.1	10.7	3.7	▲7.7	▲8.4	▲5.2	▲10.8	▲6.7	6.3	-
カンファレンスボード消費者信頼感指数	92.9	87.1	87.1	95.2	114.9	117.5	120.0	128.9	125.1	115.2	109.8	113.8	-	
ミシガン大学消費者信頼感指数	76.9	80.7	79.0	76.8	84.9	88.3	82.9	85.5	81.2	70.3	72.8	71.7	66.8	

(資料) 各種統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

参考表: 主要月次経済指標の推移②

主要月次経済指標の推移

		20年11月	12月	21年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
住宅	住宅着工戸数(年率、万戸)	155	166	163	145	173	151	159	166	156	158	156	-	-
	前月比(%)	2.4	7.1	▲2.2	▲11.0	19.2	▲12.2	5.3	4.0	▲5.7	1.2	▲1.6	-	-
	中古住宅販売戸数(年率、万戸)	659	665	666	624	601	585	578	587	600	588	629	-	-
	前月比(%)	▲2.1	0.9	0.2	▲6.3	▲3.7	▲2.7	▲1.2	1.6	2.2	▲2.0	7.0	-	-
	新築住宅販売戸数(年率、万戸)	87	94	99	82	87	80	73	68	71	70	80	-	-
前月比(%)	▲10.7	9.0	5.3	▲17.1	6.1	▲8.8	▲7.9	▲6.8	4.2	▲1.4	14.0	-	-	
物価	消費者物価指数(1982~84年=100)	260.2	260.5	261.6	263.0	264.9	267.1	269.2	271.7	273.0	273.6	274.3	276.6	-
	前月比(%)	0.2	0.2	0.3	0.4	0.6	0.8	0.6	0.9	0.5	0.3	0.4	0.9	-
	前年比(%)	1.2	1.4	1.4	1.7	2.6	4.2	5.0	5.4	5.4	5.3	5.4	6.2	-
	生産者物価指数(2009年11月=100)	119.3	119.4	120.9	121.9	123.0	124.3	125.5	126.6	127.6	128.3	128.9	129.8	-
	前月比(%)	0.0	0.3	1.2	0.7	0.8	1.0	0.9	0.9	0.7	0.7	0.5	0.6	-
前年比(%)	0.8	0.8	1.6	3.0	4.1	6.5	7.0	7.6	7.8	8.3	8.6	8.6	-	
国際収支	輸出(財、億ドル)	1,268	1,315	1,344	1,303	1,436	1,451	1,456	1,459	1,486	1,498	1,427	-	-
	輸入(財、億ドル)	2,130	2,163	2,210	2,196	2,366	2,321	2,350	2,392	2,364	2,390	2,409	-	-
	貿易収支(財、億ドル)	▲862	▲848	▲866	▲893	▲930	▲871	▲893	▲933	▲878	▲892	▲982	-	-
	貿易収支(財・サービス、億ドル)	▲673	▲658	▲657	▲682	▲722	▲667	▲685	▲732	▲703	▲728	▲809	-	-

(注)『消費者物価指数』とその『前年比』、『生産者物価指数』とその『前年比』は季節調整前。

(資料) 各種統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記して下さい。

会社名 : 株式会社三菱UFJ銀行 経済調査室(ニューヨーク)
1251 Avenue of the Americas, New York, NY 10020, USA

照会先 : 岡田 知恵 e-mail : cokada-wighe@us.mufg.jp